

科目担当者氏名		科目担当者連絡先（メールアドレス）
（ふりがな）	おおおか えみ 大岡 栄美	
連絡責任者氏名		科目設置機関名
（ふりがな）	きむ みよんす 金 明秀	関西学院大学 社会学部
授業科目名	科目認定番号	受講者数
社会調査実習I	KSGa-170703-0	19

I. 調査実習に関するコメント

学生が果たした役割や実習全般に対する感想など：社会調査の設計・立案から実施、ヒアリングで得られた質的データの分析、報告書の作成まで、社会調査に関する一連の実践を学生中心に行った。調査フィールドには計30回足を運び、積極的に地域とかがかわる中で、地域課題を理解することができた。グループでの調査だったが、各自の役割分担を明確にして取り組めたことが調査実習の質を高めた。多くの時間と労力を割き、精力的に活動を行ったことで学生の側も大きな学びと成長の機会を得た。

II. 調査の企画・設計（デザイン）

1. 調査のテーマ／領域：西宮市鳴尾東地域において、未就園児の母親を支える地域資源の現状と実際の母親のニーズや困りごととのギャップを調査、分析する。そのうえで地域の子育てサロン「つみき会」とともに、現在の子育てサロンを通じた「子育ての社会化」の可能性について検討、課題解決に向けたアイデアを提案する。

2. 調査の内容／概要：地域活動（夕食会、お片付け隊、夏祭りなど）への参与観察を通じた、地域の子どもや子育て中の母親を支える地域資源の把握。活動の担い手と母親へのヒアリング調査。

3. 調査の範囲／対象（量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入）：ヒアリングの主な調査対象者：鳴尾東在住の「小さい子どもを持つ母親」と地域活動の担い手 理由：調査テーマである「子育ての社会化」への希望が鳴尾在住の母親にあるのかを知るため、子育て中（特に地域外に出ることの負担の大きい未就園児）の母親を対象とした。また地域側の子育て支援の現状を知るため、担い手（子ども会、青愛協）も対象。

4. 主な調査項目：地域の担い手ヒアリング：地域の現状、子育て支援活動や場の拡充への地域のニーズ、母親ヒアリング：ご近所付き合いの現状、子育て支援のイベントへの参加状況、ニーズ、子育てイベントに関する情報収集の方法

III. データ収集の方法と結果

5. データ収集（現地調査）の方法：ヒアリング調査：地域コーディネーターを介し、アポイントを取り、対象者へインタビューを実施。

6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数：西宮市鳴尾東地区において調査。5月～8月：様々な地域活動（夕食会、お片付け隊、夏祭りなど）での参与観察、地域についての知識を付けた。8月～10月：地域の子どもや子育て中の母親を支える地域資源や活動の担い手（6名）や母親（14名）にヒアリング調査。調査員の数：8名

7. 収集したデータの量と質への評価（量的調査の場合は有効回収票数及び回収率を必ず記入）：母親（14名）ヒアリング調査に関しては、希望していた未就園児を持つ母親にアクセスすることが難しく、すでにその時期を過ぎた就学児童を持つ母親が多く含まれた。得られた質的データは十分とはいえないが、地域の課題の理解の一定の理解にはつながった。

IV. データ分析の方法と結果

8. データ分析／解釈の方法：ヒアリング調査については、ヒアリングシートを作成。調査対象者から聞き取った内容を詳述し、質的に分類し、まとめた。

9. 調査の成果（調査から得られた主な知見など）：地域の中で未就園児向けのイベントや活動が不足している認識が担い手側にもあること、しかしそこまで手が回らない実情が浮き彫りにされた。また母親側の既存の子育てサロンに行きづらさを感じている理由（例：顔見知り同士でグループになっており、入りにくいなど）などが明らかになった。課題については地域の子育てサロンの運営者と共有され、10月には参加者の減少と担い手の高齢化が懸念される地域の子育てサロンつみき会で実施する未就園児向け親子イベントを企画し、11月16日実施した。この手形アートイベントには37名（母親15名、0～4歳の子ども計22名）が参加するイベントとなり、大きなにぎわいとなった。

10. 報告書刊行の予定と概要：報告書は2017年度1月末に刊行し、2月19日には調査フィールドの関係者に配布を行い、簡単な報告会を実施した。

<記入上の注意点> 1. 調査のテーマ毎に用紙を替えて(3つのテーマを立てて実施した場合は合計3枚に渡って)ご記入下さい。

2. 最上部の*印の箇所には数字を(*/*)には、報告書が複数枚になる場合のみ、3枚中の1枚目なら1/3とご記入下さい。

3. 全ての項目について具体的にご記入下さい。但し、1テーマ毎に印刷が必ずA4サイズ1枚に収まるようにして下さい。フォントサイズは変えず(設定してある通りにして)、項目毎に分量に応じて「行の高さ」を変えることで調整していただけたら幸いです。

4. 報告書はウェブ上で公開する予定です。また、調査実習情報をDB化することも検討しています。ご承知置きの上、ご記入下さい。